

2020年2月28日

中国日本商会 会員各位  
関係各位

日中経済協会北京事務所  
中国日本商会

## 新型コロナウイルスに関する第5回アンケート結果のご報告

新型コロナウイルスの感染拡大に対する北京市内の日系企業の事業所の対応状況について、日中経済協会北京事務所と中国日本商会の共同でこれまで5回のアンケート調査を実施いたしました。状況が刻々変化する中、前回と同様の設問を中心に、状況の変化を共有し、各種ご判断の参考にしていただけたら幸いです。毎回も短時間での回答をお願いしておりますところ、今回も前回に迫る多数のご回答をいただき、大変ありがとうございました。

### 調査概要

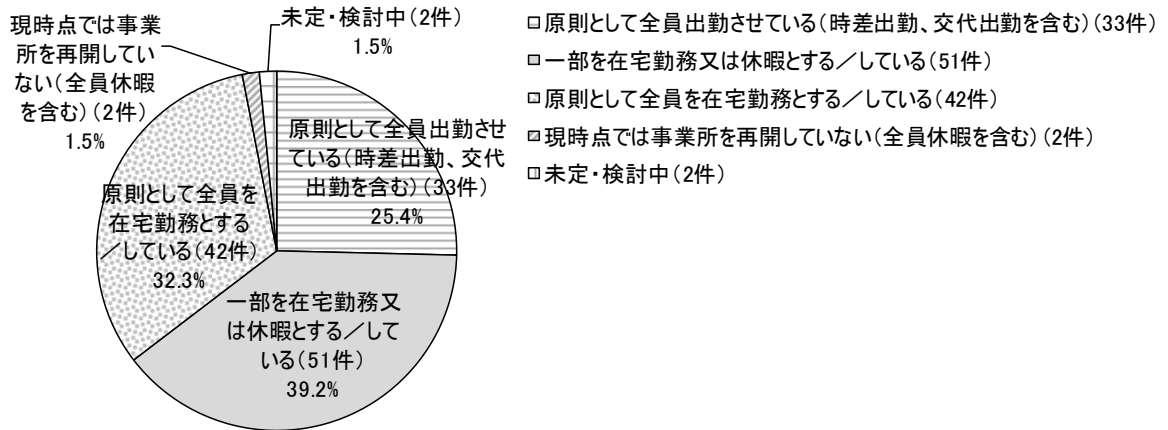
- 実施期間：2020年2月27日（木）12:30～2月28日（金）12:00（約1日）
- 案内先：中国日本商会 市内法人会員 539社
- 有効回答：130件（同一企業からの重複回答2件は内容を確認のうえ一方を除外）
- 回答業種の内訳：

中国日本商会における所属部会・分科会名	略称	回答数	比率%
商社	商 社	10	7.7
工業1（重工業、プラント、建設、エネルギー、自動車等製造業）	工 1	21	16.2
工業2（電機、電子、IT〔ソフトウェア含む〕等製造業）	工 2	22	16.9
工業3（化学グループ）	工 3 化学	2	1.5
工業3（ライフサイエンスグループ・医薬品）	工 3 医薬	10	7.7
工業3（ライフサイエンスグループ・医療機器）	工 3 医機	6	4.6
工業3（ライフサイエンスグループ・化粧品）	工 3 化粧	1	0.8
工業3（その他）	工 3 その他	16	12.3
金融（銀行、証券、損保、生保、政府系金融）	金 融	14	10.8
運輸・サービス（運輸、倉庫業）	運 輸	7	5.4
運輸・サービス（流通業、サービス業）	サービ	19	14.6
団体	団 体	2	1.5
	合計	130	100.0

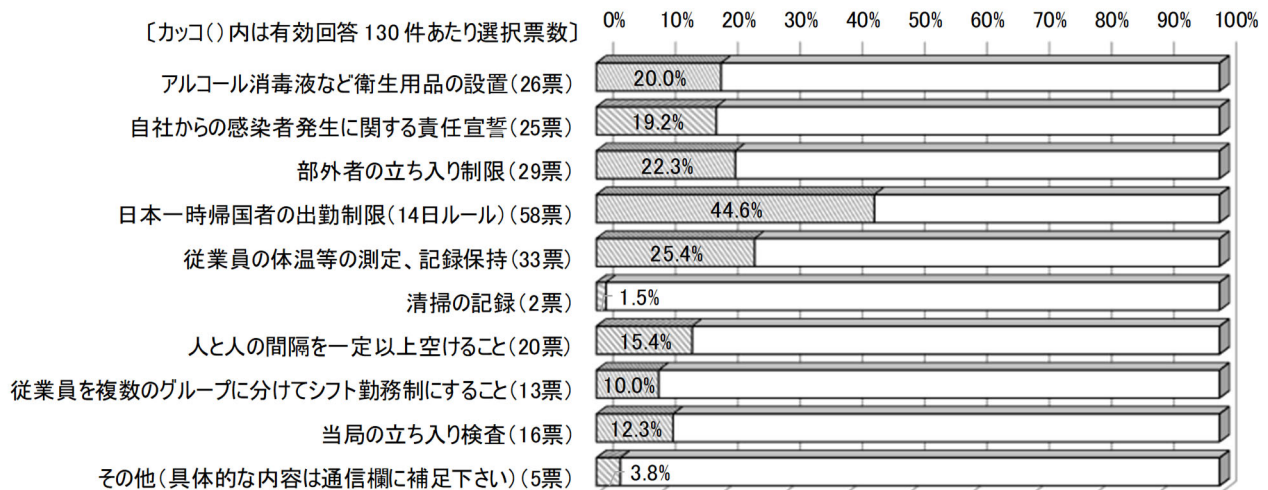
## 集計結果

### 設問1 平常の出勤体制に戻すにあたって

#### 1-(1) 北京の事業所の現在の出勤体制（択一）



#### 1-(2) 勤務先ビルによる規制で負担に感じていること（複数選択可）



#### <その他の関連コメント>

- ✓ 【工3 医機】クーリエ便などの担当者がビル内に立ち入れないため、発送・受領の度に指定場所へ赴かねばならず、非効率・不便である。
- ✓ 【工3 医薬】自社はビルへの賃貸入居ではなく自社所有建物のため、勤務先のビルの規制＝社内規則になる。
- ✓ 【工3 その他】集中管理の空調を切られ、換気のため窓を開放しての業務を要求されているため、従業員はコートを着たまの業務を強いられている。
- ✓ 【サービス】オフィス管理会社からは、社員のデータ提供も求められている。
- ✓ 【商社】〔※編注：天津の回答者様〕天津地区は、徐々に復帰に向かっており、市内ビジネス地区は区毎に対応が違うが、某区は、①申請書をビルの物業に提出し、物業が一次審査して良いと認めれば出社開始可能。②その後政府の見回りがあり確定すると聞くが実態は不明。

**設問2** 北京の日本人駐在員の所在確認

2-(1) 本来北京にいるべき日本人駐在員数（択一）

☞ 130 社合計 576 人

2-(2) 上記のうち、現在（2月28日時点）の北京にいる駐在員数（択一）

☞ 130 社合計 368 人（約 64%）

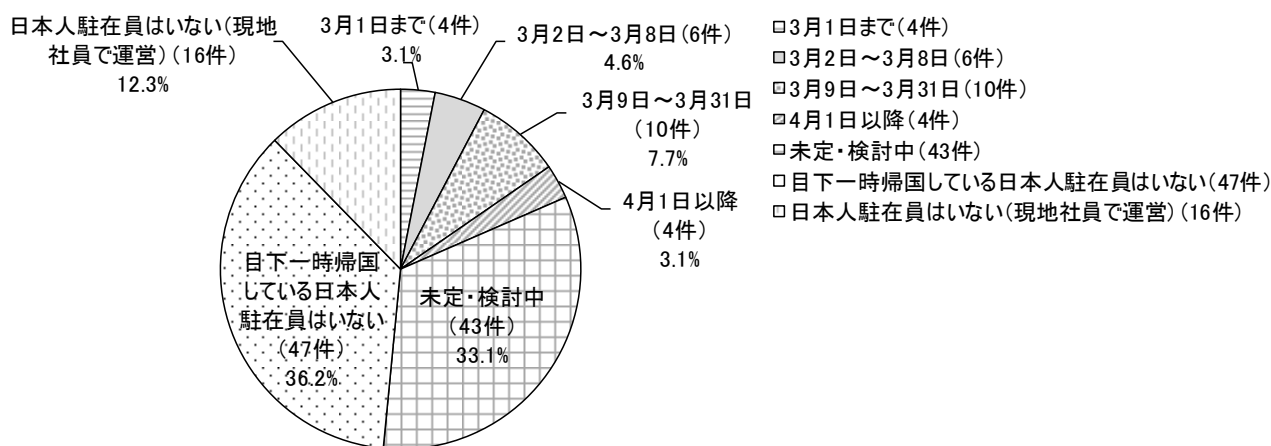
<駐在員数別の集計（単位：人）>

	現在（2月28日時点）北京にいる駐在員数																社数合計	駐在員数
	0	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	18	70			
本来北京にいるべき日本人駐在員数	0	18															18	0
	1	15	23														38	38
	2	6	6	11													23	46
	3	3	3	1	2												9	27
	4	2	2	2	1												7	28
	5	1		2		1	4										8	40
	6			1		1	1	1									4	24
	7						1										1	7
	8	1		2													3	24
	9							1		2							3	27
	10			1							2						3	30
	11								1								1	11
	13													2			2	26
	14											1		1			2	28
	16												1				1	16
	18														1		1	18
	20			1													1	20
	22			1													1	22
	23												1				1	23
	24						1										1	24
25													1			1	25	
72															1	1	72	
社数合計	46	34	22	3	2	7	2	1	2	2	1	1	4	2	1	130	576	
駐在員数	0	34	44	9	8	35	12	7	18	20	11	12	52	36	70	368		

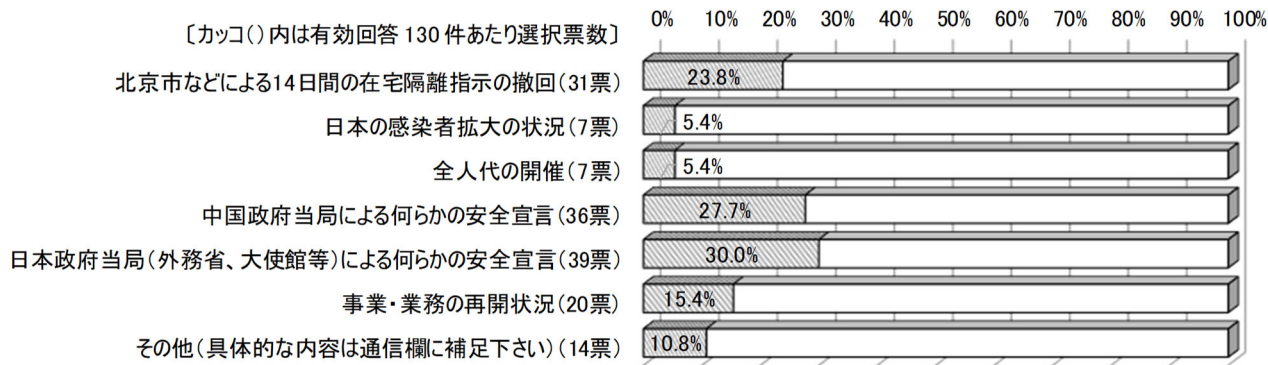
<所属部会・分科会別の集計（単位：人）>

中国日本商会における所属部会・分科会名	回答社数	A. 本来の駐在員数	B. 在北京駐在員数	B/A比率%
商社	10	57	39	68.4
工業1（重工業、プラント、建設、エネルギー、自動車等製造業）	21	107	84	78.5
工業2（電機、電子、IT〔ソフトウェア含む〕等製造業）	22	111	90	81.1
工業3（化学グループ）	2	5	1	20.0
工業3（ライフサイエンスグループ・医薬品）	10	31	16	51.6
工業3（ライフサイエンスグループ・医療機器）	6	27	4	14.8
工業3（ライフサイエンスグループ・化粧品）	1	0	0	—
工業3（その他）	16	32	18	56.3
金融（銀行、証券、損保、生保、政府系金融）	14	56	43	76.8
運輸・サービス（運輸、倉庫業）	7	33	30	90.9
運輸・サービス（流通業、サービス業）	19	96	34	35.4
団体	2	21	9	42.9
合計	130	576	368	63.9

## 2-(3) 一時帰国中の日本人駐在員全員が北京に戻る予定時期（択一）



## 2-(4) 一時帰国中の駐在員が北京に戻ることを決める判断基準（複数選択可）



### <その他の判断基準に関するコメント>

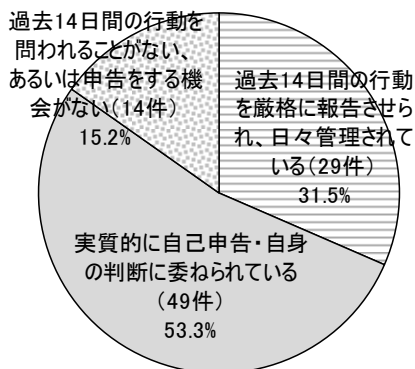
- ✓ 【商社】中国での感染拡大が落ち着く兆候が見えれば、状況を見て、日本に一時滞在する駐在員を帰京させる基本方針。
- ✓ 【工1】北京への戻りは3月31日の予定だが、2月初旬に決定した暫定の予定であり、明確な判断基準に基づいたわけではない。
- ✓ 【商社】1名のみ業務上の理由で日本に滞在しているため業務終了次第帰任予定。北京市の管理が厳格化する可能性について危惧している。
- ✓ 【工1】北京市内の病院の医療体制及び感染リスクの状況。
- ✓ 【工1】本社から「一時帰国後14日間の在宅勤務」の指示が出ており、14日後に日本・北京双方の感染拡大状況を見て判断する（北京での14日間隔離は止む無し）。
- ✓ 【工1】現在日本に一時帰国中だが、他社は同様の事例において、今後どのような基準で北京へ戻る時期を決めようとしているのか。
- ✓ 【工1】今は韓国、日本の感染状況の方が大きく取り上げられ、特に韓国からの航空便で中国（山東、吉林、遼寧、南京）へ到着した乗客に発熱症状があった場合、搭乗者の多くが隔離場所に連れて行かれた等のニュースが出回っている。日本本社がこれを恐れ、日本人駐在員を安心して戻せないリスクとなっている。
- ✓ 【工2】日本での業務用件が終了すれば中国に戻ることを基本にしている。
- ✓ 【工3 医機】一時帰国を解除する基準が不明瞭な状態であり、本社と中国の現状認識が

必ずしも一致しておらず、本社が返すことを認めるのに時間がかかる印象を持っている。

- ✓ 【工3 医機】北京市における新規患者増加0人が継続して1週間以上達成できたポイントを帰国判断と考えている。ただ社内にも明確な基準は無いため、外部の公式な通知などであると意思決定がより容易となる。
- ✓ 【工3 医薬】一時帰国中の駐在員が戻る判断基準をどこに置けば適切か、判断が難しい。
- ✓ 【工3 医薬】日本本社で検討中。
- ✓ 【工3 医薬】北京での感染拡大がデータ上落ち着いてきたこと。
- ✓ 【工3 その他】一時帰国者の帰京は本社対策会議で決定されるため総経理が判断できない。
- ✓ 【工3 その他】居留許可期限の延長手続等。
- ✓ 【金融】本社の意見が強く、他社の北京戻り状況は考慮していない。外務省の渡航制限がレベル 2→1 に下がるとか、米国による中国への渡航制限が解除されるなど、公的機関・役所の大きな判断がない限り、日本待機が続く見通し。については、外務省より2月12日の一律的な一時帰国検討の見直しや、北京、上海など都市ごとのリスク状態、渡航判断を示すことを要望したい。
- ✓ 【金融】厳格化された帰京者管理の運用状況について、引き続きタイムリーなフィードバックを是非ともよろしく願いたい。
- ✓ 【サービス】外務省の渡航レベル2を拠り所に帰任判断されており、未だ戻れない。
- ✓ 【サービス】帰京に際しての14日間自宅観察ルールの影響が大きい。ビルに対する更なる管理強化策（チェックリスト提出の義務化）等が会社及び帰京を難しくしている。

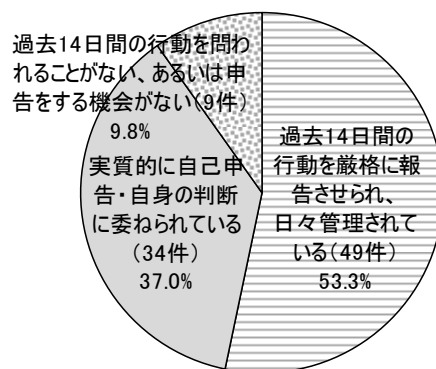
**設問3 北京市の14日間自宅観察ルールの運用状況**

3-(1) 回答者ご自身の公寓あるいは地域の14日ルール運用は（択一）



(注) 不明/未回答を除外した92件のみを図示。

3-(2) 回答者ご自身の勤務先ビルの14日ルール運用は（択一）



(注) 不明/未回答を除外した92件のみを図示。

**<その他の関連コメント>**

- ✓ 【工1】2月26日、居住しているアパートの社区より過去14日間の所在を厳密に証明することを求められた。
- ✓ 【工2】2月26日に北京市政府より「感染地域」から北京に入った外国人も14日の自宅観察が義務づけられるという発表があり、一時的に日本に帰国することが躊躇われる。

実際の運用はマンションや会社で異なるものと思うが、はっきりとした情報が欲しい。今後中国から日本への渡航禁止等ができることがもしあれば、フライトも減り、帰国が必要な際に障害が出るのではないかと危惧している。

- ✓ 【工2】日韓からの訪問者に対して14日間の自宅観察を要請。出張者が来られないどころか、北京会社の職員も日本への出張も不可。全く動けない状態。如何なる状況になれば制限緩和されるのか何ら指針もなく全く不透明。
- ✓ 【工3その他】1月31日に日本へ一時帰国し、2月17日に北京に戻ったところ、14日間の自宅隔離を要求されたが、21日の北京市発表を受けて、23日の居住区の出入証を取得した。昨日（2月26日）の北京市発表の影響はまだよく分かっていない。
- ✓ 【工3その他】家族（子供）が日本から北京に戻り、14日間の隔離が義務付けられたが、同居者も同じく14日間の再度の隔離を義務付けられ対応に困っている。
- ✓ 【金融】春節前後から北京詰めになっている職員のストレスが気になる。休暇を兼ねた一時退避を検討中だが、帰京時の14日間在宅隔離指示がネックになって身動きがとり難いのも現実である。
- ✓ 【運輸】先般の通達で、北京から離れて国外で14日間過ごした者が北京空港で入国した場合、14日間の自宅待機が不要となったが、北京から出国し、日本で14日未満を過ごし北京から入国した場合も同様に自宅待機不要となるとありがたい。日本を感染地域と捉えるかであるが、上記の14日間以上日本で過ごして北京へ戻るのと、北京、日本、北京であれば同じことと考えられる。
- ✓ 【サービス】14日間の隔離ルールが日本人と韓国人に改めて適用されるようだが、これは確認済みか。それとも未だに明快な通達は得られていない状況だろうか。

#### **設問4** 通信欄（自由記述・任意回答）

##### ●出入国管理等に関するコメント

- ✓ 【工2】14日ルールが解除されない状況で北京に戻ることにした場合、空港から自宅に戻れるのかどうか不安（強制隔離などされないか）。日本でも感染拡大しており、中国側が日本からの渡航者を拒否する可能性も考えられる。その場合、長期間北京に戻ることが出来なくなる可能性もあり、戻れるうちに（今のうちに）戻るという選択肢も考えなければならないと感じている。
- ✓ 【工2】2月26日北京市や各地方政府発令（遼寧省、山東省、蘇州市等々）の、日本・韓国からの入国者管理厳格化について、毎々だが起点日や内容への疑義・不明点多々あり。大使館・日本商会からの質疑内容の結果報告を待っている。
- ✓ 【工2】日本の対応は後手に回っている感が否めず、このままでは中国への入国管理が益々厳格化されることと考察。日本国挙げての感染拡大防止への対応に期待する。
- ✓ 【工3医薬】外務省より渡航禁止命令が出ない限り、中国にて勤務。
- ✓ 【運輸】2月22日に北京に戻ったが、感染拡大防止策の徹底という面では日本よりも正直安心感がある。一方で今週に入り日本・韓国からの入国者への検疫体制が強化されており日本からの中国への帰任を躊躇する動きが出ているのが気になる。特に非組合員の駐在員の取り扱いは頭を痛めているところ。

- ✓ 【運輸】周辺国で感染拡大が高まるなか、それらの国々からの入境者に対する差別的扱いを懸念する。例えば、飲食店への入店拒否など一部の都市で発生している様子。

### ● 出勤体制、出勤対策、安全確保に関するコメント

- ✓ 【工 1】在宅勤務から通常勤務に復帰するのを決断する項目や指標について各社どのようにお考えか、調査していただきたい。
- ✓ 【工 3 医機】営業先に病院があるのだが、その営業先で新型肺炎患者が発生した場合の影響がどこまで及ぶのかが不明。現実問題として病院に入ってしまうとどこでどう接触したのかは不明であるため、関連した担当者を自宅待機させ経過観察するしかない。またその家族をどのように扱うかも難しい。止むを得ず病院に人員派遣する場合は、その病院の隔離レベルを確認し、出来るだけ先方に防護服を準備してもらうようにしている。持参した防護服では病院の要求するレベルを満足させられない可能性があるため。
- ✓ 【工 3 その他】自社には約 600 人が居住する寮があり、通常は相部屋としているが、部屋に入れる人数に制限がかかったため 240 名ほどが外地から戻れない状況。アパートを探して対応しているが十分な確保が出来ていない。入京後 14 日間ルールが適用されるため本稼働には時間がかかる。

### ● ビジネス全般への影響に関するコメント

- ✓ 【工 1】在宅・当番勤務が長期化しており、日本人駐在員は一時帰国中なので、現地従業員のモチベーション維持を心配している。
- ✓ 【工 3 化粧】消費者マインドの現状及び今後起きる消費行動の変化等に興味がある。取りまとめと情報発信に感謝。
- ✓ 【工 3 その他】このような事態が発生した際の物流の確保を要する。かつての SARS の際は、これほど厳しくなかったと思う。
- ✓ 【工 3 その他】出勤者 50%以下を会社の人員規模関係なく適用するのは、少人数で行なっている企業にとっては大打撃。会社規模により比率を変える等の柔軟な方策はできないものか？
- ✓ 【工 3 その他】売上がほとんどないにも関わらず、また半月以上休業したのに給与を全額支払う必要があるため、大赤字になってしまう。給与の 60%支給といった労働者の権利ばかりでなく、企業を維持させる方策があれば、経営が助かる。これが、次月も継続すれば、資金不足を心配する必要がある。こうしたなか、社会保険の支払い猶予策は助かるものの、本当に適用されるかが曖昧。
- ✓ 【金融】人事異動時期と重なってしまったので、引継ぎおよび離着任がスムーズに行くのか心配。
- ✓ 【サービス】お客様同士が近づき過ぎない様に、1メートル規制をできる限り徹底してはいるが、現実には店内の至る所で、1m 以内の近接は起こり得る。衆人環視の目も厳しい折、当局からは、徹底管理できないと営業中止も有り得ると警告を受けた。管理人員を充てて徹底を図っているが従業員が戻らず人手不足の折、作業的にもコスト的にも非常に大きな負担となっている。幹部を中心に休日返上で応援体制を組み、対応している。

- ✓ 【サービス】旅行業は本当に困っている。赤字による影響は来年度に尾を引くだろう。

### ● 今後必要な情報、課題・要望に関するコメント

- ✓ 【商社】北京市でも中国系企業や飲食店含む各種店舗の多くがまだ再開していないため、地方や北京市外から戻る人の移動がこれからどの程度あるのか、それにより再度の感染者増加がどのように推移するのかという点が今後の見通しにおいて重要と思われるため、関連情報の提供をお願いしたい。
- ✓ 【工 1】各地区での取り決めが統一されておらず、情報が錯綜している。大使館や領事館からの情報内容が薄い。
- ✓ 【工 2】マスクが不足しており、政府として斡旋対応を希望する。
- ✓ 【工 2】中国人の駐在員もいるので、それらの設問も設けてほしい。
- ✓ 【工 3 その他】マスクや必要物資を地域単位で備蓄して配布できるような体制を築いて欲しい。急にマスクを絶対つけろ、と強制されても手持ち分が不足。
- ✓ 【工 3 その他】北京市及び周辺の工場（特に食品加工）の稼働情報、物流についての規制情報があれば参考にしたい。ちなみに自社の取引先の唐山市にある食品加工工場は、市政府により春節中から操業停止されていた業務が2月27日より許可を得て再開した。
- ✓ 【金融】一時帰国中の駐在員家族の北京渡航時期の判断が難しいため、他社情報が欲しい（すでに北京に帰国しているか、渡航予定時期、渡航時期の判断基準など）。
- ✓ 【サービス】北京市は武漢並みの「国家1級応急管理体制」をとっているのですが、表面上は感染拡大を抑制できるようなでも、都市部なので人の往来は複雑であるし、見えないリスクがあるかもしれないので心配は尽きません。感染事例の結果をもっと透明化して公表してほしい。

### ● その他コメント

- ✓ 【工 1】前回アンケートで希望した設問を早速設けていただき感謝。今回の結果を是非参考にしたいと考えている。
- ✓ 【工 2】習近平国家主席自身が北京における新型肺炎封じ込めに言及。北京開催予定の全人代延期が背景にあると予想される。2月27日の報告では、26日北京で新規感染者が10例出たと公表。係る状況の中、一層の封じ込め強化されるのか不安。
- ✓ 【工 3 医機】コロナウィルス関連の保険が発売されたようなので、積極的に付保する事をお勧めしたい。
- ✓ 【工 3 その他】日本からの輸送が滞っている。日本からマスクを送ったが、1カ月かかっている。飛行機便数が削減されたためか。
- ✓ 【サービス】大使館のタイムリーな情報提供に感謝。

### ◆ 本件お問い合わせ先：

日中経済協会北京事務所・岩永（iwanaga@postbj.net）、澤津（saw@postbj.net）  
中国日本商会・渡辺（watanabe\_taiichi@postbj.net）

以上



